

# 地域公共交通検討協議会

日 時：令和5年10月24日（火）13時30分～

場 所：筑紫野市議会 第1委員会室

出席者：赤司泰一座長、辻本副座長、八尋副座長、田中委員、横尾委員、上村委員、高原委員、西村委員、原口委員、白石委員、宮崎委員、山本委員、城委員、古賀委員、坂口委員、段下委員、前田委員、榎木委員、佐々木委員、吉村委員、赤司祥一委員、春口委員  
事務局 荒金局長、大久保課長、阿部主査

## 《議題》

### 1. 提言書（案）について【別紙】

（座長）これまでの協議会で、市の目指す将来像について十分な議論ができていないのではないかと考えている。今回は提言書ではなく「提案書」としてまとめ、執行部に参考として渡したい。今後、議会では目指す将来像を「課題」として捉え、取り組んでいきたい。

（高原委員）提言書でも提案書でも、市民からすれば議会として取りまとめた意見に変わりはなく、議会が実現可能だと判断したものと捉えられてしまおうではないか。議員一人ひとりが責任をもって、市民に説明できるものが必要と考えるが。

（座長）提案書として提出することは市民には伝わりにくい部分もあるのかもしれないが、これまで議会として市民の意見などをまとめたものであり、計画に反映させてほしいという思いから提出したい。他市議会の提言書を見ると、議会がきちんと調査している。議会に共通課題として取り組んでいきたいと考えている。今後の議論の中で実現に向けてやっていきたい。

（段下委員）中間とりまとめとしてだしてはどうか。

（上村委員）目指す将来像を一つ一つ検証したわけではない。議会として課題を整理したものであり、今後課題を共通認識とし、時間をかけて調査・研究していったほうがよいと考える。

（座長）今回は議会の考えと民意をとりまとめたものにすぎず、議会として議論していない。しかし、それを執行部に伝え、交通計画に反映させてもらいたいという意思表示のために提案として提出したいと思っている。

（田中委員）計画と進捗を議会がチェックしていき、その中で具体性・整合性がでてくる。現時点では、座長の提案でいいと思う。

（座長）提言書の文言を修正し、提出したい。

（副座長）現状を調べ、課題の整理をした。提案書として計画書に反映できるかを執行部

に届けよう思う。これから執行部が計画案を策定するので、議会として意見が盛り込まれたか検証していく。また今後、実行するための予算を議会として考えていきたい。いままでは計画が策定された後の検証しかできていなかったもので、計画策定の段階から議会として参画していきたいとの考えからはじめたこと。これからは、まとめた内容を意見として届けること、まとめた課題を視点として計画を評価・検証していく。来年度になれば進捗管理をしていくことを、正副座長で話し合った。

（座長）協議会を立ち上げた目的として、議会として民意を伝えるという目的があったので提案書を提出したい。今後新たな課題もでてくることも考えられるので、今の時点での取りまとめてして受け取ってもらいたい。

## 2. その他

提案書の文言を修正して、皆さんに確認をしてもらいたい。

その後、10月31日に議長から副市長へ提出を予定している。

◆ 終了予定 15時00分

令和5年 月 日

筑紫野市長

平 井 一 三 様

地域公共交通計画に関する提言書（案）

筑紫野市議会議長 赤 司 泰 一

# 提言書

## 地域公共交通計画について

筑紫野市議会では、地域における移動手段の維持・確保は、将来のまちづくり、観光振興、商業、健康・医療、福祉・介護、教育、環境等の様々な分野において重要な役割を果たすとの見解から、地域公共交通計画の策定段階から、議会が積極的に関わり、提言することとした。

これまで本市議会では、少子高齢化の進展や高齢者による運転免許証の自主返納が進みつつあることを踏まえ、公共交通に関する地域の現状・問題点を分析し、あらゆる角度から調査、検討を行い、市民のニーズに対応するとともに持続可能な地域公共交通を実現するための対策について、議論を重ねてきた。

現在、市執行部においては、地域公共交通計画の策定に向けた作業を進めているが、本市議会でのこれまでの議論を踏まえ、地域公共交通計画において別紙に掲げる公共交通の将来像を目標に定め、その実現に向けた施策に取り組むよう提言する。

令和5年 月 日

筑紫野市議会議長 赤 司 泰 一

# 目指す公共交通の将来像

## 目標① 地域・事業者・行政の協働

- ・ デマンド型交通の導入
- ・ 小型バスの導入
- ・ 民間事業者等の車両の活用
- ・ 近隣市町との連携

## 目標② 快適な移動の確保

- ・ 地域性・市民ニーズに沿ったルートの整備
- ・ 幹線と支線の連携・結合の充実
- ・ バスの位置情報の提供、渋滞対策
- ・ カミーリヤバスの利便性の向上・見直し

## 目標③ 持続可能な公共交通の実現

- ・ 利用促進につながる施策の実施(割引券の配付、イベントの開催等)
- ・ MaaS等を活用した利用者実態の把握、行動計画の作成
- ・ 時刻、乗継方法をまとめた刊行物の作成

## 目標④ 快適な利用環境の整備

- ・ バス停留所のベンチ・屋根の新設
- ・ バス停留所の表示物をわかりやすく工夫(多言語化、ルビをふる等)
- ・ 駅の利便性向上



# 添付資料



## 【二日市東・御笠地域】

(実態)

### 運行ルート

- ・最寄りの駅(JR天拝山駅、西鉄朝倉街道駅、五条駅)に行くバスがない。通勤・通学で利用できない。
- ・イオンモールへ行けない
- ・目的地まで時間がかかる  
(阿志岐の自宅から市役所⇒65分、  
吉木から筑紫病院⇒73分 など)

### 運行ダイヤ

- ・バスの到着時刻が遅れる
- ・高雄交差点など朝夕渋滞
- ・夕方の便が少ない(御笠自治会バス)
- ・運行時間が利用したい時間と合わない

### 乗降場所

- ・市街でもバス停まで距離がある。  
(交通空白地域の存在)

### 利用者

空車の時間帯・区間がある

### その他

- ・荷物が多くバス利用が不便
- ・乗継を知らない

(地域の課題)

#### 課題①

公共交通不便地域の解消

#### 課題②

効率的・魅力ある公共交通網の形成

#### 課題③

具体的ニーズに対応した公共交通の充実

#### 課題④

利用環境の整備・改善

#### 課題⑤

公共交通の利用促進

(対策)

#### 【地域・事業者・行政の協働】

- ・時間帯によりデマンドバスの導入  
(電話又はアプリで予約)
- ・登録制のデマンドバスの導入
- ・乗降場所を決めた乗合いタクシー

#### 【快適な移動の確保】

- ・ルートの見直し・整備
- ・コミュニティバスのルートの見直し  
(イオンモールを含むルート)
- ・位置情報検索サービスの提供
- ・太宰府市との協議(五条駅へのルート確保)
- ・渋滞する交差点に右折レーン、信号の整備を県へ要請
- ・バス停、ルート、便を増やす
- ・カミーリヤバスの見直し  
(75歳未満は有料とし、利用方法を緩和する)

#### 【持続可能な公共交通の実現】

- ・市負担によるタクシー代半額制
- ・年間パスポート(割引)の配付
- ・キャッシュレス決済の導入
- ・利用促進のPRを実施

#### 【快適な利用環境の整備】

- ・朝倉街道西口の設置
- ・天拝山駅にエレベーター設置



## 【二日市・山口地域】

(実態)

### 運行ルート

- ・大門、塔原、武蔵、北杉塚、星ヶ丘、二日市北のバスがない
- ・コミュニティバスでは戻れない(逆ルートが必要)
- ・市役所、駅、病院、買い物、公民館に行きやすいルートが確保されていない(二日市北、山口、大門、塔原)(利便性が向上すれば高齢者の免許返納へもつながる)

### 運行ダイヤ

- ・西鉄・JRまでの本数が少なく、ゆめタウンまで行けない
- ・運行本数が少なく、利用できない

### 乗降場所

- ・バス停まで遠い(大門、塔原、武蔵、北杉塚、星ヶ丘)

### 新たな取組み、その他

- ・子どもたちが利用しやすいようにバス停の表示物に「ルビ」をふる
- ・山部を走れる車両の導入
- ・荷物が多くバス利用が不便
- ・自転車、車いすが載せられない(リフトが付いていない)
- ・時刻表がわかりづらい
- ・タクシーがない

(地域の課題)

#### 課題①

公共交通不便地域の解消

#### 課題②

効率的・魅力ある公共交通網の形成

#### 課題③

具体的ニーズに対応した公共交通の充実

#### 課題④

利用環境の整備・改善

#### 課題⑤

公共交通の利用促進

(対策)

#### 【地域・事業者・行政の協働】

- ・デマンドタクシー、乗合せタクシーの導入
- ・民間との連携、民間バスの活用(ベレッサ、幼稚園、保育所、大観荘、代行タクシー、葬儀社)
- ・タクシーアプリの導入
- ・小型バスの導入

#### 【快適な移動の確保】

- ・太宰府市と連携してルートの整備
- ・カミーリヤバスの見直し(乗降場所の自由化など)
- ・シャトルバスの導入(西鉄⇄カミーリヤ、山口⇄朝倉街道)

#### 【持続可能な公共交通の実現】

- ・行動計画の作成(MaaSの活用)
- ・無料券の配付
- ・イベントを開催(運賃を下げる、こどもが利用する機会)
- ・観光バスの導入

#### 【快適な利用環境の整備】

- ・バス停の表示物にルビをふる
- ・乗継・時刻表をわかりやすくする



# 【筑紫・山家地域】

(実態)

**運行ルート**

- ・ 出発地と目的地が限定されている
- ・ 西鉄バス営業路線が停止されている
- ・ 運送法の影響で公営路線がひけない
- ・ ルートの外回り・内回りと支線のルート整備を
- ・ 筑紫駅から南方面へのルート整備を
- ・ 原田、美しが丘、光が丘のルート整備を
- ・ バス停や駅までの距離が遠い
- ・ ドアtoドアができれば

**高齢者対策**

- ・ 免許返納後の移動手段がない
- ・ 高齢者の通院
- ・ 高齢化の進む団地へのバスの乗り入れ

**筑豊本線**

- ・ 筑豊本線の空列車

**運行ダイヤ**

- ・ 本数が少ない
- ・ 夜の便がない
- ・ バスのダイヤが正確でない。筑豊本線の電車に乗り遅れる

(地域の課題)

課題①  
公共交通不便地域の解消

課題②  
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③  
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題⑤  
公共交通の利用促進

(対策)

**【地域・事業者・行政の協働】**

- ・ デマンドバスの導入(西鉄・タクシー会社と連携)
- ・ **筑前町との連携**
- ・ **小型バスの導入**

**【快適な移動の確保】**

- ・ ルートの見直し・整備
- ・ 地域性に沿ったルートの確立
- ・ **ダイヤの見直し**
- ・ **本数の充実**
- ・ **ルートを増やす**

**【持続可能な公共交通の実現】**

- ・ 高齢者・免許返納者への割引、利用券の補助(タクシーチケット、バス割引の拡充)
- ・ 筑豊本線の活用、見直し  
(利用者の調査、研究)



## 【筑紫南地域】

(実態)

**運行ルート**

- ・筑紫原田線開通によるコミュニティバスの路線見直しの必要性
- ・「つくし号」がJR原田駅に来ない
- ・美しが丘南から二日市まで乗り継ぎなくいけるように
- ・馬市までバス路線が通っていない
- ・目的別に多様な要望に応じてほしい(病院、コミセンコース、買い物ルート)

**運行ダイヤ**

- ・カミーリヤを使用した後(約1時間)すぐにバスが来ない(改定前は良かった。)
- ・路線バス・カミーリヤバスの便数が少ない
- ・日中、美しが丘南区内からJR原田駅、西鉄筑紫駅までのバスがない

**乗降場所**

- ・坂道が多くバス停までの移動がづらい
- ・馬市から最寄りの電車駅まで1キロ以上
- ・バス停にベンチと屋根がない

**新たな取り組み、その他**

- ・狭い道路にも対応可能な小型バスの導入(馬市、西小田、隈)
- ・便利なルートがわかる実例集などがあれば利用しやすい
- ・利用促進のための広報活動

(地域の課題)

課題①  
公共交通不便地域の解消

課題②  
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③  
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④  
利用環境の整備・改善

課題⑤  
公共交通の利用促進

(対策)

### 【地域・事業者・行政の協働】

- ・社会福祉協議会・スイミングクラブなどのバスの活用
- ・各公民館をまわる小型バスの導入(オンデマンドバス)

### 【快適な移動の確保】

- ・地域のくらしを支える公共交通ネットワークの形成(馬市・西小田)
- ・コミュニティバスの新路線(美しが丘北)の設定
- ・コミュニティバス・カミーリヤバスの一元化
- ・筑紫南地区から二日市へ1本で行ける交通手段の設定
- ・幹線と支線の連携・結合を充実させる
- ・ダイヤの見直し、充実

### 【持続可能な公共交通の実現】

- ・バス停に行くために電動カーの利用促進
- ・ダイヤを網羅した実例集の発刊

### 【快適な利用環境の整備】

- ・バス停留所のベンチ・屋根の新設